

観光革新の旗手たち

人のご縁を大切にして事業展開をしてきたその先に ハウスキーピング・マネジメントというビジネスと、 ホスピタリティという生き方があった

株式会社グローバルゲイツ
代表取締役会長兼CEO

梅村 真行氏



東洋大学 国際観光学部
准教授

徳江 順一郎氏



徳江順一郎氏 プロフィール
東洋大学国際観光学部准教授
上智大学経済学部卒業、早稲田大学大学院商学
研究科修了。大学院在学中に起業し、飲食店の経営や
マーケティングのコンサルティング、内装デザイン事業な
どを手がける。2011年から東洋大学国際地域学部国
際観光学科に兼任。「ホテルと旅館の事業展開」、「ホ
スピタリティ・デザイン論」（創成社）、「ホスピタリティ
・マネジメント」、「ホテル経営概論」（同文館出版）など、
著書・学術論文多数。

人手不足の現状について

徳江 本日は大学までお越しいただき、ありがとうございます。東洋大学の印象はいかがでしょう。

人生というものは、いったいなにが起きるか分からない。筆者自身、学生時代はホテルでの仕事を夢見ていたが、まさか関連する分野を教えるために大学の教壇に立つようになろうとは夢にも思っていなかった。しかし、一貫しているのは、ホスピタリティに対する想いである。今回ご紹介するグローバルゲイツの梅村会長も、数奇なご経験を経て現在の会社を創業するに至っている。現在の主力事業は二つあり、商社としてさまざまなホテルの客室内商品を輸入すること、ハウスキーピングのアウトソースを受けることである。

宿泊産業における「コア」はなにかと問われれば、私は「客室」であると考え。もちろん、個人的にはバーの存在感などもきわめて重要なのであるが、客室がなければ「宿泊」産業たりえないからである。その意味でも、常日頃から学生たちには「ハウスキーピング」という仕事の重要さをなるべく伝えるように努めている。

梅村氏がハウスキーピングの事業を展開するに至ったのは、人との関係を大切にしてきた梅村氏の生き方が背景にあった。梅村氏も「ホスピタリティという生き方」を実践している方なのである。

梅村 とても立派な大学で、学生さんたちも活気がありますね。

徳江 でも、今の学生は二言目には「就職活動が不安」とばかり言っています。実際には、本当に人手不足なので、そこ



梅村 真行氏 プロフィール
株式会社グローバルゲイツ 代表取締役会長兼 CEO
1964年福岡県北九州市若松生まれ。大学卒業後に渡米し、ニューヨーク大学大学院ホテル経営学修士課程修了。米国のジャルパックでの勤務を経て帰国し、ヨコハマ・グランド・インターコンチネンタルホテルの開業スタッフとして団体予約・セールス部門を経験。地元の福岡に帰ったのち、アミューズメント経営や飲食店経営、不動産開発の仕事を経て、九州大学大学院MBAコース「QBS」に通いつつ、42歳で独立。現在に至る。

まで心配することはないはずなのですが。

梅村 まさにそうですね。ただ、就職活動が楽だと、その後のキャリアが不安にもなります。

徳江 いずれにせよ、現在のホスピタリティ産業にとって、「人」の問題は急務なのですが、その部分のご対応をされているのが御社なわけですね。

梅村 今は幅広く事業展開をしておりますが、ホテルの人材不足に対応して、さまざまなアウトソースも受けさせていただいております。その意味では、弊社でも人材に関することがコアにあるのは間違いありません。

徳江 ただ、梅村会長は現在の会社を創業なさるまで、かなり色々なご経験をなさっていらっしゃるようですね。

大学在学中のギリシャ旅行から米国へ

梅村 はい、色々なことをしてきました。ただ、大学2年で旅行したギリシャでの経験が大きいですね。友人とバックパックで行ったのですが、ここで英語の重要性を痛感したんです。

徳江 本学の学生にも、とにかく在学中は海外に行つてこいとしょっちゅう伝えています。経験するだけで大きいですね。

梅村 それで、大学を卒業後にロサンゼルスに行きました。ここで語学を学び、次いでボストンの大学でホテルのことを学んだんです。

徳江 ホスピタリティ産業との接点が生じてきましたね。

梅村 その後は、ニューヨーク大学のホテル経営学修士課程に進学しました。在学中にジャルパックでインターンシップをさせていただき、そのまま就職することになりました。

徳江 若いうちは本当に勢いでなんでもできますね。私もお店を開いたときはそんな感じでした。

梅村 先生が勢いで、なんておっしゃるとなかなか不思議な気分です（笑）

帰国後にめいっぱいホテルの仕事

徳江 お恥ずかしい…その後に帰国ですね？

梅村 はい。当時、日本のセゾングループがインターコンチネンタルホテルズグループを買収していたのですが、ボストンで開催された合同説明会に700名くらい学生のアプライがあったようなのです。5名採用という狭き門に、運よく入れていただき、その後ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルに配属となりました。

徳江 そのときの人事担当者は見る目がありましたね（笑）

梅村 それはどうでしょう（笑）…いずれにせよ、インターコンチネンタルホテルで団体予約やコンベンション・セールスといっ

た営業系の仕事をさせていただきました。最後の1年は、インターコンチネンタル・チェーンにおけるアジア・パシフィック地区の営業マネージャーもさせていただきました。

徳江 貴重なご経験ですね。当時のインターコンチネンタルホテルは色々と流動的な面もあったため、大変だっただろうとも推察しますが…

梅村 ただ、頑張りすぎたのか、身体を壊してしまい、地元の福岡に帰ることにしたのです。

福岡での経験

徳江 それは残念でしたね。でも、そこからどのような変化があり、今に至るのでしょうか。

梅村 30歳で福岡に戻り、総合アミューズメント企業の企画本部、現場店長、営業本部での仕事をさせていただきましたが、33歳で社長に就任し、42歳まで勤めました。

徳江 それはすごい。やはり、できる方はなにをやっても違う。

梅村 ですが、会社の方針もあり、私は独立することにしたのです。それで設立したのが現在の会社です。また、九州大学のMBAコース「QBS」にも夜に通いました。ここで色々な方や素晴らしい教授陣にお会いできたのは私の大きな財産です。

徳江 本学も、大学院には意欲を持った社会人の方も多くいらっしゃいます。大学院では院生同士の人間関係も重要ですね。ところで、起業してからすぐにホテル関連の仕事をしたのでしょうか。

起業後の展開

梅村 いえ、当社はずっと、日本のいいものを世界へ紹介する、ということミッションとしております。人と環境にやさしい商品とサービスを取り扱う総合商社というのは、創業以来変わらぬ基本理念です。

徳江 今の時代にとっても求められるものです。

梅村 そうした中で、2007年にJR九州様よりLED照明器具の開発依頼をいただき、世界初となる蛍光灯タイプの

LEDを開発・販売させていただきました。その後、アメリカ在住の青色発光ダイオードを発明した中村教授へ、お礼に弊社の蛍光灯タイプLED照明をプレゼントさせていただく機会もありました。当時、全国で大ブレイクいたしました。

徳江 でも、そこからどうしてハウスキーピングの仕事につながるのでしょうか。

梅村 たまたま、仕事で取引のある清掃会社の方から、会社をもう続けていけないから、社員を引き取って欲しくないかと打診があったのです。それが、過去にご縁もあったホテルを扱っていたこともあり、新規事業として展開することにしたのです。

徳江 LED照明とハウスキーピングなら、補完効果もありそうですね。

梅村 おっしゃるとおりです。LED照明や建材を輸入するビジネスは日常的に発注があるわけではないのですが、ハウスキーピングは逆に日々のビジネスとなります。

徳江 世界的展開をしていらっしゃるようですが、文化の差異など大変ではないですか？

梅村 確かに大変です。でも、きちんとルールを決めておいたりすれば、いくらでも対応できます。これからの時代はダイバーシティが重要ですから、むしろこの点は当たり前でできないといけませんね。

徳江 最後に、ここまで事業展開できた秘訣はなんでしょう。

梅村 人のご縁を大切にしてきたことだと思います。私は色々な方のご縁でここまでやってこられました。大勢の方々に助けられました。いつも感謝をしています。

徳江 人間は一人ですることには限界がありますからね。本日はお忙しいところ、まことにありがとうございました。

株式会社グローバルゲイツ
http://www.g-gates.com/
〒111-0051東京都台東区蔵前4-3-4
サンライズ蔵前ビル2階
編集補助：東洋大学徳江研究室

